

種類別の主な用途

(SHASE-S 209-2009) 機能区分の詳細は下記をご参照ください。

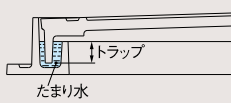
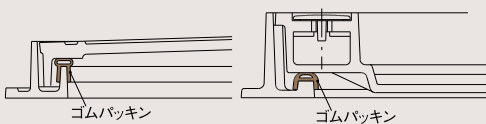
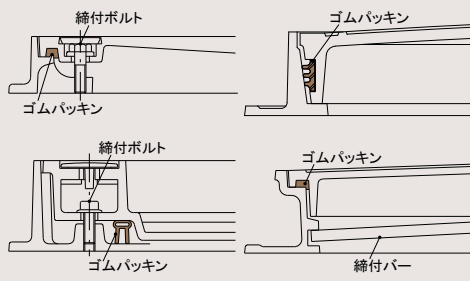
マンホールの種類および機能区分		屋内槽類					屋外槽類					排水ます(桧)・その他					
		汚水・雑排水槽	ゆう(通)水槽	雨水槽	消火用水槽	雑用水槽	飲料用水槽	汚水・雑排水槽	雨水槽	消火用水槽	地下油槽	雑用水槽	屋内汚水・雑排水ます(桧)	屋外汚水・雑排水ます(桧)	集水ます(桧)	雨水ます(桧)	浄化槽類
マンホールふた	水封形							○	○				○		○	○	
	簡易密閉形(パッキン式)		○	○	○	○		○		○		○	○			○	○
	密閉形(ボルト・パッキン式)	◎	◎	◎			◎										
	密閉形(テーパ・パッキン式)	○				○	○			○	○	○	○				○
床化粧マンホールふた	簡易密閉形(パッキン式)		○	○	○	○		○		○		○	○			○	○
	密閉形(ボルト・パッキン式)	○				○	○			○	○	○	○				○
インターロッキングブロック化粧マンホールふた													○	○	○		○

注) ◎:圧力がかかると予想される場合

機能区分

マンホールカバーの防水、防臭機能はその効果の度合いによって下記の4種類に分類されています。使用場所やその効果の程度によって最適なものをご使用ください。

※機能表現の用語はSHASE-S規格を引用しております。

1	水封形(防臭型)	受枠トラップ部のたまり水によって、防臭効果を発揮する構造です。常にたまり水が確保できる場所に適しています。なお、ゴムパッキンは装備していません。	
2	簡易密閉形(簡易防水・防臭型)	蓋の自重によってゴムパッキンを圧着し、内部への漏水を防止する構造です。例えばバケツの水を撒いた時の漏れはしたたる程度です。水下など水のたまりやすい場所に設置された場合、漏水量が増す可能性があります。屋外用としての防水・防臭機能は最も一般的なものです。	
3	密閉形(防水型・防臭型)	ゴムパッキンを介して蓋と受枠をボルトまたはバーで締め付けて密着させ、防水・防臭性能を保つ構造です。また、テーパ蓋、枠にゴムパッキンを介して密閉するもの、二重蓋で下部蓋を締め付け、さらに排水ソケットを装備した構造のものもあります。水圧のかからない屋内・外のあらゆる場所で、通常使用に優れた機能を発揮します。	
4	耐水圧防水型・防臭型	3に準じますが、蓋に水圧力(特に内圧力)が加わる場所に適します。	